

今後の進め方について

今後の進め方(案)

本日

第5回 検討委員会



ロゴマークの投票



H30年度末

第6回 検討委員会 (最終)

2年間の試行結果を踏まえ今後の制度や実施方法について、とりまとめ・提言

○持続的体制

進め方(ルート指定等)、役割分担、ブランド(ロゴマーク) 等

○受入環境の充実方策

休憩施設、移動のサポート、イベントモニターツアー、ルート案内・周知 等

○自転車走行環境の改善方策

案内看板、路面表示 等

○情報提供・サイクリストとのコミュニケーション方策

コミュニケーションサイト、利用実態調査 等

H31(2019)
年度～

提言に基づいて、世界水準のサイクリング環境構築に向けた取組開始

○地域の活動団体からの申請に基づき、審査を経た上で、要件を満たしたルートを指定

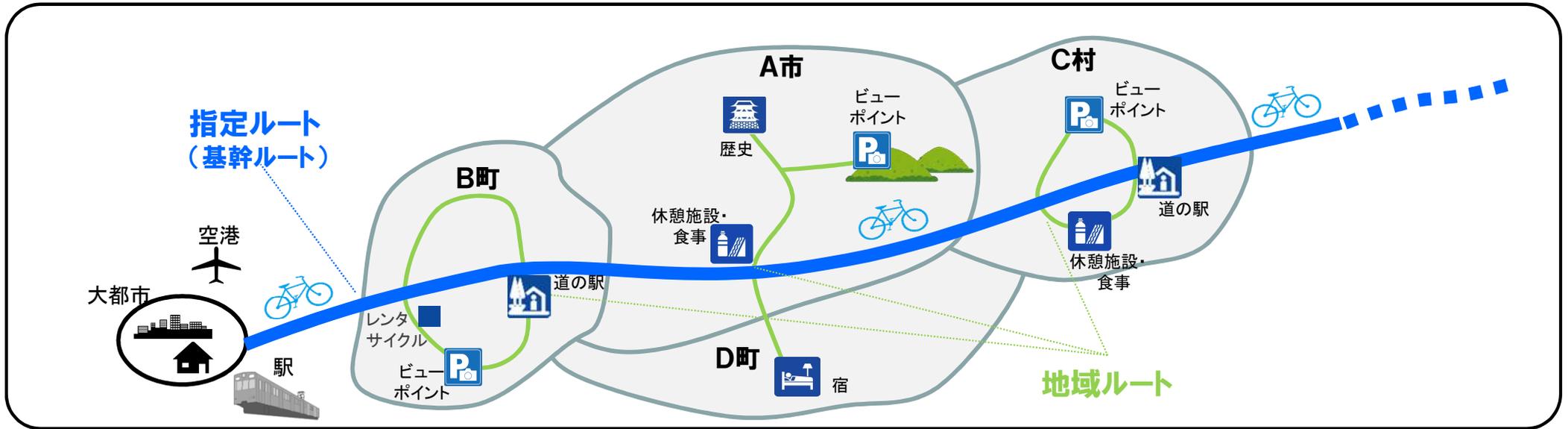
※ 有識者委員会による審議を経て、関係機関による協議会により指定を行うことを想定

○指定ルートにおいて、地域や道路管理者等が連携し、受入環境の充実や走行環境の改善、情報発信等の取組を実施

モデルルートにおける試行(H29～H30年度)

H31(2019)年度以降の取組イメージ(案)

- 地域の活動団体からの申請に基づき、審査を経た上で、要件を満たしたルート进行指定
- 指定ルートでは地域や道路管理者等が連携し、受入環境や走行環境、情報発信等の取組を実施
- 指定ルートと一体となって、地域ルートについても、情報発信等の取組を実施
(地域ルートは指定ルートからの申請に基づいて登録)



指定ルートのイメージ

世界のサイクリストが、セルフガイドで安全かつ安心して走行できる、骨格となるルート(基幹ルート)

ルート(経路)	・主要交通拠点(空港、主要駅、フェリー港等)、魅力を有するエリア、複数の市町村を通過 等
体制	・地域、自治体の合意
受入環境	・休憩施設(一定の備品・設置間隔) ・必要に応じた移動のサポート体制(輪行、荷物、レンタサイクル等) ・イベント、モニターツアー ・ルートマップ(紙) 等
走行環境	・統一的なルート案内(看板等) ・安全対策(路面表示(矢羽根)、注意喚起看板等) 等
情報発信	・コミュニケーションサイト、利用実態調査、動画等によるプロモーション 等

地域ルートのイメージ

指定ルート(基幹ルート)と一体となって地域の魅力を楽しめるルート

※指定ルートと一体となった情報発信等の取組を実施

ルート(経路)	・指定ルートの近隣 ・ビューポイントや体験施設等を通過
体制	・指定ルートと連携